

(防犯・防災通信) 緑 の 風

西町町会 防犯・防災部長



◇【防犯】

*電話でお金詐欺(SNS 特殊詐欺も急増)被害継続発生中(県内・市内も)

県内の今年1月から3月末までの電話でお金詐欺の被害件数は61件(去年同期:39件)で、被害額は1億6800万円余り(去年同期:1億5800万円弱)となっています。

また、SNSを使った投資詐欺とロマンス詐欺が1月から3月末で34件(同:4件)、被害額は4億7800万円余り(同:5980万円余り)で、件数金額ともおよそ8倍に急増しています。

SNSを使った詐欺投資*やロマンス詐欺*の犯行は画面上のやり取りで進むため、周囲が気付きにくい背景にあります。・警察では、SNS上であったことのない人からお金の話が出たら詐欺を疑い家族や警察に相談することや、もうけ話をうのみにしないことなどを呼びかけています。

*投資詐欺→著名人や専門家をかたって投資を呼びかける手口

*ロマンス詐欺→巧みなやりとりで恋愛感情を抱かせ、振り込みを促す手口

(NHK長野放送局HP・信州NEWS WEB 4月18日記事より抜粋、一部加除あり)

本年4月8日、下伊那郡の70歳代女性がパソコンを操作中、画面に「電話してください。」などと表示されたため、表示された連絡先に電話をしたところ、ソフトウェア会社社員を名乗る男から、「セキュリティが切れそうです。」「すぐにセキュリティを更新してください。」「ギフト券を購入してください。」などと言われ、下伊那郡内のコンビニエンスストアで、ギフト券(電子マネー)5万円分を購入し、相手にギフト券番号を伝え、だまし取られる被害が発生しました。・警察では、パソコン等にウイルス感染に関する表示がされたり、電話でウイルス感染に関する話をされた場合には、詐欺を疑い、相手に連絡しない、電子マネーを要求された場合は、支払うことなく警察に相談することなどの被害防止を呼び掛けています。

本年4月中旬、岡谷市の20歳代女性が、インターネットで見つけた副業に関する広告にアクセスして登録したところ、相手から電話があり、「より多く稼ぎたいければサポートプランに登録したほうがいい。」「サポートプランは支払う金額によってサポートが変わる。」などと言われ、複数回にわたり、相手から指定された口座に合計117万円を振り込み、だまし取られる被害が発生しました。・警察では、儲け話を鵜呑みにしない、インターネットやSNSでの副業や投資に関する広告は詐欺を疑う、現金を振り込む前は一人で判断せず、家族や警察に相談するなどの被害防止を呼び掛けています。

(長野県警察HP・県警ニュース4月17日から抜粋)

◇【防災】 地震への備えについて

- *令和6年4月発行のハザードマップが配布されています。西町も東西南北で被害想定が異なります。自分の家(土地)の災害リスクを改めて確認しましょう。
- *大地震に備えたわが家の安全確認をしましょう。(自宅内の危険個所、安全な場所)
- *非常持ち出し品(季節により中身が変わります)リストはありますか？
- *家庭内での備蓄品(期限切れの食品や薬はありませんか?)の保管場所を確認しましょう。

●先月4月17日、東部地区公民館で信大名誉教授；原山 聡先生の防災講座「北アルプスと松本盆地の成り立ちから考える防災講座」が開催されました。大勢の聴衆が集まり、公民館の方が資料や椅子を急遽追加するなど大会議室は満員となり、地域住民の関心の高さに圧倒されました。

4月に配布されたハザードマップの話から始まり、北アルプスと松本盆地の成り立ちについてはここでは割愛しますが、松本市のホームページにある「揺れやすさマップ」や「建物の倒壊危険度図」など示しながら市内または、各地区内でも固い地盤と軟弱な地盤は存在しており、建物の耐震性を高めるなど防災に対する心構えをすることが地震被害最小化のため重要であるとお話しされました。

まとめのお話として、①災害は忘れているから大きくなる

②安全はタダではない(金額をかけずにできる震災対策もある)

③常に状況を客観視せよ(リスク管理をしましょう)

とのことでした。(文責：村田誠一)

○5月2日(木)、「防災講座；備えあれば憂いなし」があります。

場所；城北地区・福祉ひろば

時間；13時30分～

お出かけください。



◎防犯防災通信「緑の風」(カラー版)は、パソコン、スマホで読むことも可能です。
松本市のホームページから➡地域の掲示板→城北地区→各町会から→西町町会へ